



イキイキチャレンジ活動 ～みんなに優しい排泄ケア～



社会福祉法人
光友会



二見 弘樹

法人概要



社会福祉法人光友会は、1977（昭和52）年に障害者の地域作業所として出発しました。現在では、神奈川県藤沢市内を中心に障害者（児）への支援サービスを行い、神奈川県下の3箇所を拠点におよそ50の事業を展開しています。

イキイキチャレンジ活動とは

職員の働き方などを見直し、働きやすい職場環境、より質の高い福祉サービスを提供することを目的とした活動です。改善活動には法人の全職員が参加します。

（今年で10年目）

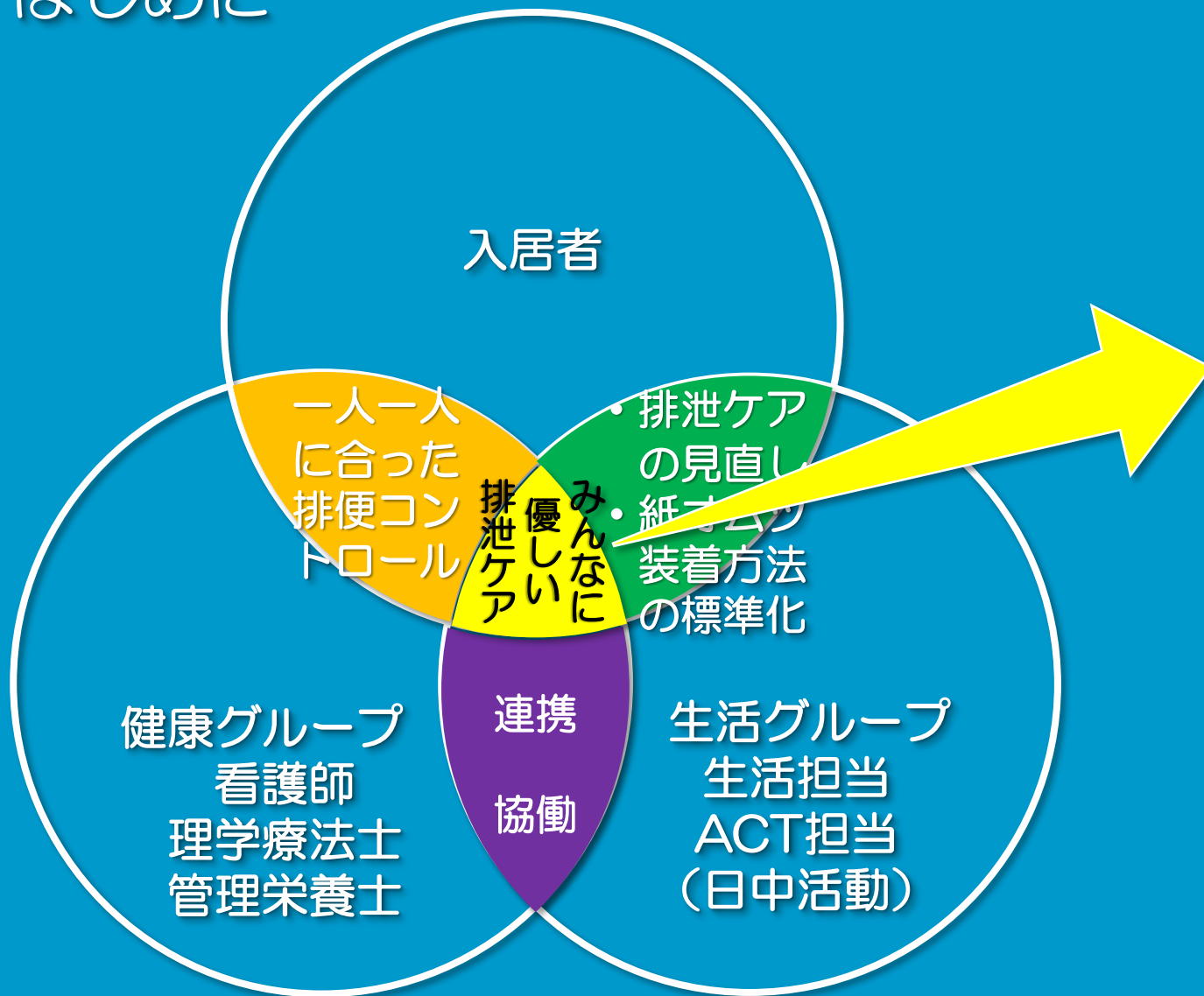
年1回発表大会を開催し、成果を法人内で共有します。テーマの設定は次の中から選びます。

- ・ 3S活動（整理整頓清掃）
- ・ リスク低減
- ・ ロス削減
- ・ マニュアル等からのルール把握
- ・ 日々の業務向上を目指し成果を上げた取組
- ・ 研修受講から研究活動へ発展させた取組

みんなに優しい排泄ケア

藤沢北地域福祉部
湘南希望の郷

はじめに



職員の負担軽減

入居者の更なるQOLの向上

はじめに

「排泄」

- 生命活動によって生じる老廃物、有害な物質を体外に排出する現象
- 生きていくために毎日、何回も繰り返し行なわれる現象
- 待ったがきかない生理現象
- 羞恥心を伴うプライベートな現象

「排泄が障害されることで考えられる影響」

- 疾病発症のリスク
- 感染のリスク
- 介護者への負担の増大
- 社会活動参加意欲の低下



「排泄ケア」

- 介護の原点とも言える重要なケア
- 生きていくうえで欠かせない現象に対するケアであると同時に、入居者の自尊心を強く傷つける可能性のある非常に難しいケア
- 生活全般の支援につながる

健康グループの取り組み

- ・入居者一人一人の健康的な排便の確立に向けてのコントロールを展開

- ・便秘

未排便3日

自力での排便に伴う苦痛がある

自力での排泄が困難な方



- ・便秘になると・・・

身体的：腹痛や腹部膨満・食欲不振・嘔気・嘔吐など

精神的：不快感から精神不穏・自傷や他害行為・てんかん発作など

湘南希望の郷入居者56名中46名（82%）が便秘

便秘の原因と対応

便秘の原因を5つに分類し、対応をアセスメントし実践した

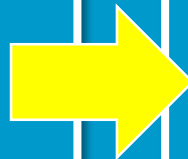
原因1 排泄を司る神経損傷

原因2 運動障害

原因3 便意があってもうまく伝えられない

原因4 食物繊維不足

原因5 服用している薬の副作用



対応1 必要時のお手伝い

対応2 理学療法士と連携

対応3 看護師・生活グループ職員の観察眼

対応4 管理栄養士と連携

対応5 看護師による薬物療法のアセスメント

薬物コントロールの代表症例

- M.S氏 56歳 女性 熱中症後遺症による廃用性症候群

入所前から宿便状態

毎日の浣腸と摘便を実施し直腸内の便を無くし、
緩下剤（朝・昼・夕）と週2回の浣腸ですっきり

M.S氏満足度



- Y.O氏 25歳 男性 脳性麻痺

入居して生活スタイルが変わり便秘になる
排便で生活リズムが崩れないようにとの希望があり、
緩下剤と、週2回の浣腸により生活リズムを保つ

Y.O氏満足度



- M.S氏 57歳 男性 脳性麻痺、両眼先天性白内障

緩下剤によるコントロール（朝・昼・夕）

軟便の失禁状態のため朝・夕に減量し安定した排便になる

M.S氏満足度



生活グループの取り組み

介護場面での排泄ケア

人としての尊厳を守る介護の本質
3K（きつい、汚い、危険）が含まれる支援



生活グループの排泄ケアの課題

- ① 職員個々の技量に任されている
- ② 尿漏れで洋服が濡れてしまう
- ③ 紙オムツがずれてしまう
- ④ オムツ交換に時間が掛かり過ぎる
- ⑤ ①から④の課題への取り組みが不十分

- ・ 排泄ケアの見直し
- ・ 紙オムツ装着方法の標準化

排泄ケアに関するアンケートの実施

排泄ケアに関するアンケート

調査対象 湘南希望の郷生活グループ職員40名

調査方法 回答用紙によるアンケート

調査期間 2023年9月25日～10月6日



排泄ケアに関するアンケート

排泄ケアに関するアンケート

今後の排泄ケアサービス向上のため、アンケートの協力をお願いします。

【1】あなたの年齢は： 20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳以上

【2】性別： 男性 ・ 女性

【3】勤務形態は： 常勤 ・ 非常勤

【4】介護経験は、当施設で「 年」
他施設で「 年」
高齢者施設・子どもの施設・在宅ヘルパー・身内の介護
その他（ ）

【5】Q1からQ23までの設問に回答をお願いします。

Q1) 忙しくやつつけ仕事になってしまう

はい ・ いいえ

Q2) 車イス上での交換が多くきちんとオムツが装着できない

はい ・ いいえ

Q3) 麻痺や拘縮があるのでビッタリとオムツが装着できない

はい ・ いいえ

Q4) 介護抵抗があり、オムツの装着に手こずる

はい ・ いいえ

Q5) 自分の身体的負担（腰痛や肩、腕の痛み）がありオムツ交換がきつい

はい ・ いいえ

Q6) 次の勤務職員のことを考えてオムツを装着している

はい ・ いいえ

Q7) 自分のオムツの装着方法が正しいかどうかわからない

はい ・ いいえ

Q8) お手本とすべきものがないので自分なりの方法でしている

はい ・ いいえ

Q9) 他職員のオムツの装着方法が気になる

はい ・ いいえ

Q10) 尿もれがあったとき、これをつけた人に問題があったのではないと思う

はい ・ いいえ

Q11) 正しいオムツの装着方法を習ったことがありますか

はい ・ いいえ

Q12) 尿もれしないようにオムツを重ねて装着するようにしている

はい ・ いいえ

Q13) 自分のやり方に自信がある

はい ・ いいえ

Q14) あなたは入院などでオムツを装着したことはありますか

はい ・ いいえ

Q15) 学校の実習などでオムツを装着したことがある

はい ・ いいえ

Q16) オムツを装着したことはないが、不快や不自由さを想像したことがある

はい ・ いいえ

Q17) トイレに行けない人のオムツ着用は仕方ないと思う

はい ・ いいえ

Q18) 紙オムツ、ペーパー、ウエスなどのコストを考えてオムツ交換している

はい ・ いいえ

Q19) 地球環境、SDGS、資源を考えて支援にあたっている

はい ・ いいえ

Q20) コストについては特に考えたことはない

はい ・ いいえ

Q21) 施設主催のオムツの勉強会（動画視聴を含む）に参加したことがある

はい ・ いいえ

Q22) オムツの勉強会は役立ったか

はい ・ いいえ

Q23) 排泄ケアに対してあなたの考えや思いなど自由に記入してください

ご協力ありがとうございました。

10月6日（金）までに職員室アンケート回収箱に入れてください。

アンケート結果①

排泄ケアに関するアンケート結果①

アンケート実施期間：2023年9月25日（月）～10月6日（金）

アンケート対象者：湘南希望の郷生活グループ 40名

常勤 26名 男性 18名
非常勤 14名 女性 22名

【1】	年齢	20歳代	6
		30歳代	9
		40歳代	6
		50歳代	8
		60歳以上	7
		無回答	0



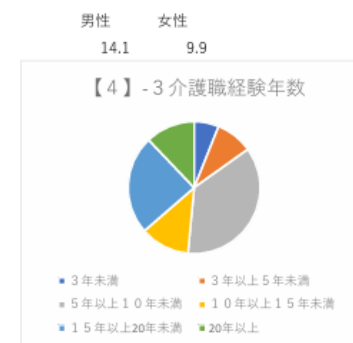
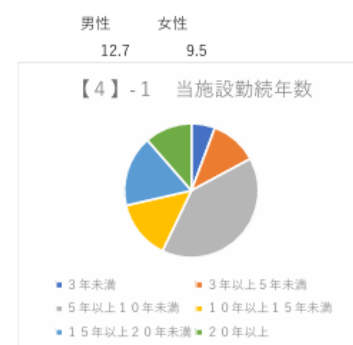
【2】	性別	男性	16
		女性	20
		無回答	0



【3】	勤務	常勤	25
		非常勤	11
		無回答	0



【4】	介護経験	【4】-1 当施設勤務年数	
		当施設勤務年数（平均）	11.0
		3年未満	2
		3年以上5年未満	4
		5年以上10年未満	14
		10年以上15年未満	5
		15年以上20年未満	6
		20年以上	4
		【4】-2 他施設勤務年数	
		他施設勤務年数（平均）	3.3
		3年未満	6
		3年以上5年未満	3
		5年以上10年未満	2
		10年以上15年未満	1
		15年以上20年未満	0
		20年以上	0
		【4】-3 介護職経験年数	
		介護職経験年数（平均）	11.8
		3年未満	2
		3年以上5年未満	3
		5年以上10年未満	12
		10年以上15年未満	4
		15年以上20年未満	8
		20年以上	4
		高齢者	2
		児童	1
		在宅ヘルパー	1
		身内の介護	2
		高齢者・児童・在宅ヘルパー	1
		高齢者・在宅ヘルパー	1
		その他	1
		無回答	3



アンケート結果②

【5】 Q1	忙しくやつつけ仕事になってしまう	はい	9	【5】 Q2	車イス上での交換が多くきちんとオムツが装着できない	はい	8
		いいえ	26			いいえ	27
		無回答	1			無回答	1
【5】 Q3	麻痺や拘縮があるのでピッタリとオムツが装着できない	はい	9	【5】 Q4	介護抵抗があり、オムツの装着に手こずる	はい	3
		いいえ	26			いいえ	33
		無回答	1			無回答	0
【5】 Q5	自分の身体的負担（腰痛や肩、腕の痛み）がありオムツ交換がきつい	はい	14	【5】 Q6	次の勤務職員のことを考えてオムツを装着している	はい	25
		いいえ	22			いいえ	11
		無回答	0			無回答	0
【5】 Q7	自分のオムツの装着方法が正しいかわからない	はい	16	【5】 Q8	お手本とすべきものがないので自分なりの方法でしている	はい	18
		いいえ	20			いいえ	18
		無回答	0			無回答	0
【5】 Q9	他職員のオムツの装着方法が気になる	はい	28	【5】 Q10	尿もれがあったとき、これをつけた人に問題があったのではないと思う	はい	17
		いいえ	8			いいえ	17
		無回答	0			無回答	0
【5】 Q11	正しいオムツの装着方法を習ったことがありますか	はい	23	【5】 Q12	尿もれしないようにオムツを重ねて装着するようにしている	はい	13
		いいえ	13			いいえ	20
		無回答	0			無回答	1
【5】 Q13	自分のやり方に自信がある	はい	11	【5】 Q14	あなたは入院などでオムツを装着したことはありますか	はい	5
		いいえ	24			いいえ	31
		無回答	1			無回答	0
【5】 Q15	学校の実習などでオムツを装着したことがある	はい	17	【5】 Q16	オムツを装着したことはないが、不快や不自由さを想像したことがある	はい	26
		いいえ	18			いいえ	3
		無回答	0			無回答	7
【5】 Q17	トイレに行けない人のオムツ着用は仕方ないと思う	はい	22	【5】 Q18	紙オムツ、ペーパー、ウエスなどのコストを考えてオムツ交換している	はい	17
		いいえ	12			いいえ	17
		無回答	0			無回答	1
【5】 Q19	地球環境、SDGS、資源を考えて支援にあたっている	はい	14	【5】 Q20	コストについては特に考えたことはない	はい	10
		いいえ	21			いいえ	26
		無回答	0			無回答	0
【5】 Q21	施設主催のオムツの勉強会（動画視聴を含む）に参加したことがある	はい	22	【5】 Q22	オムツの勉強会は役立ったか	はい	21
		いいえ	13			いいえ	6
		無回答	1			無回答	8

アンケート結果③

排泄ケアに関するアンケート結果③

【5】Q23	排泄に限らず、支援において統一ができていないと感じることが多くある。まずは排泄ケアからでも統一していくといい。
	業務の忙しさに適合していて、なおかつ漏れることのないオムツの着用方法を全職員で統一していけるようにしたい。
	パッドの大きさを時間帯で使い分ける意識、その人の尿量に合ったパッドを考えてみる意識、皆で話し合った方がいいと思う。
	排泄介助は、最優先と考える。快適に過ごして頂く基本と考えます。オムツの機能を最大限にいかした装着を学びたいと思う。
	オムツの勉強会をしてほしいです。
	人によってやり方が違う。斜めや裏返しであたっているときがある。正しいあて方を学ぶ機会が全職員にあれば良いと思う。
	使ったオムツを捨てるときに排便が付いているオムツはビニール袋を使っても尿だけの時は環境を考えて欲しいです
	嫌悪感をさとられまいとして行為におよぶとストレスフルなのでそう感じる状況等を最小限におさえたい。
	パッドが濡れていないのにズボンがびしょりだったことがある。気を付けているが当て方が悪いのではないかと思う。
	ワイドパットとビッグパットの間くらいのを吸収できるパットがあれば良いと思う。入居者さんたちは、他の人には見せたくない部分を見せなくてはいけなくて、なるべく早くきれいにさっぱりするように介助していきたい。
	その人にあったパットをつけているのに尿もれがあるというのは、職員のパットのあてかた、尿もれがするから、パットを重ねても尿もれある。それは、あてかたが原因では！
	その人に合った排泄ケアを出来ていない人が少なからずいて失禁につながっている。定時より早い時間に排泄介助を行ない自分の業務が終わったと思っている人がいると思う。それで他職員が失禁対応になっても気にしていない。どれだけ自分の当て方で失禁しているか理解する為に、自分が排泄介助を行なったところを後日、排泄表を見て確認して欲しい。
	オムツを使用する上で必要な装着の仕方を勉強したい
	オムツの装着の勉強会の実施以外にも排泄のメカニズムについての勉強会も実施したほうがよい。ADLや自立度からみてもオムツが適切であるのか見直しが必要だと思う。尿もれなどが、排尿の失敗なのか、尿失禁なのか区別して見る必要がある。
	排泄ケアに関わらず、自身のスキルや基礎知識をもっと勉強しなければと思ってます。
	年々 利用者さんの介護度が上がっているのに、職員は年齢を重ねていくので介助ができる職員が減っている気がする
	オムツに排尿して過ぐすと、気持ち悪さがとても分かります。
	定期的な勉強会を希望します。
	Q12は利用者と時間帯によって変わる。Q17は利用者の障害によっては仕方ないと思ってしまう。オムツ交換に要する時間が早すぎる職員がいる。一度、利用者一人一人のオムツの付け方を職員同士で確認及びレクチャーする時間が必要だと思われます。
	動画視聴に参加してみたい。
	その人それぞれの排泄パターンをとらえて、尿、便漏れを少なく出来たらと思っています。それには、関わる人達の意識も同じ目線でない。難しいですが、忙しい時等車椅子の座布団まで濡れている場合多々見られていますので、少しでも解決していけたら良いなあと。 排便処理をしっかりと、拭き取りのみとせず、陰部洗浄をして欲しい。洗浄液でしっかりと洗い流して欲しい。2度程汚れたままパットに付着し何度も拭き取るも取れず、洗浄液を使用し洗い流した。利用者様の清潔面からも重要だと思います。一人で無理なら、二人で対応すると良い。一人で行うより、適格スムーズに手早く、処理できると思います。

アンケート結果より（分析）

職員の湘南希望の郷での勤務経験・・・平均11年

Q7「自分のオムツの装着方法が正しいかどうか分からない」

・・・「はい」 45%

Q8「お手本とするべきものがないので自分なりの方法でしている」

・・・「はい」 50%

Q9「他職員のオムツの装着方法が気になる」

・・・「はい」 78%

Q11「正しいオムツの装着を習ったことがありますか」

・・・「はい」 64%

Q13「自分のやり方に自信がある」

・・・「いいえ」 67%

上記の回答に着目

正しいオムツの装着方法を習っているのに自信がなく
職員オリジナルな方法になっている

オムツの装着方法が統一できていない

排泄ふりかえりシート

実際に職員個々が装着したオムツの状態をふりかえり、データを集め、現在各個人が行っているオリジナルのオムツ装着を改め統一した方法とし最終的には入居者一人一人のオムツ装着マニュアル作成が必要ではないかと考え「排泄ふりかえりシート」を作成

排泄ケアふりかえりシート

入居者氏名	日付	数量時刻	使用した紙オムツに○	パッドの当て方	気が付いたこと
1	〇〇〇〇		： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	三角なし ・ ワイドパッド三角あて ・ ビッグパッド三角あて ・ 両面パッド三角あて	
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	
			： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	衣類等交換 ： あり （ 下衣のみ ・ 上衣のみ ・ 上下衣 ・ シーツ交換 ） ・ なし	
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	
			： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	衣類等交換 ： あり （ 下衣のみ ・ 上衣のみ ・ 上下衣 ・ シーツ交換 ） ・ なし	
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	
3	〇〇〇〇		： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	三角なし ・ ワイドパッド三角あて ・ ビッグパッド三角あて ・ 両面パッド三角あて	気が付いたこと
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	
			： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	衣類等交換 ： あり （ 下衣のみ ・ 上衣のみ ・ 上下衣 ・ シーツ交換 ） ・ なし	
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	
4	〇〇〇〇		： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	三角なし ・ ワイドパッド三角あて ・ ビッグパッド三角あて ・ 両面パッド三角あて	気が付いたこと
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	
			： ワイドパッド ・ ビッグパッド ・ 両面パッド ・ パンツ式 ・ テープ止め式 ・ その他（ ）	衣類等交換 ： あり （ 下衣のみ ・ 上衣のみ ・ 上下衣 ・ シーツ交換 ） ・ なし	
		交換時刻	交換した紙オムツに○	尿濡れ ： あり ・ なし	

排泄ふりかえりシート

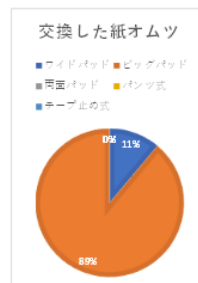
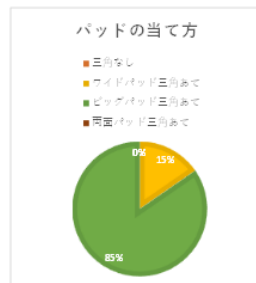
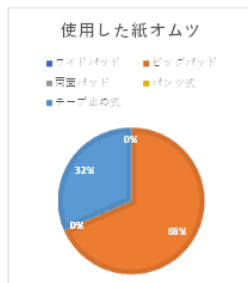
収集した情報を入居者毎に1枚のシートへまとめることにより、
その人に合った排泄ケアの方法が見える化

T.M(男性)

		装着	交換	使用した紙サムツ							パッドの当て方					交換した紙サムツ						尿漏れ	衣類等交換	
				ワイドパッド	ビッグパッド	両面パッド	パンツ式	テープ止の式	その他	三角なし	ワイドパッド三角あて	ビッグパッド三角あて	両面パッド三角あて	その他		ワイドパッド	ビッグパッド	両面パッド	パンツ式	テープ止の式	その他			
〇〇	20:00	22:00			○							○					○					なし	なし	
△△	8:00	10:00			○			○				○					○					なし	なし	
▲▲	0:00	4:30			○												○					なし	なし	
●●	22:00	0:00			○							○					○					なし	なし	
〇〇	8:00	10:00									○					○						なし	なし	
△△	8:30	10:30			○			○	ビッグパット腹			○					○					なし	なし	
▲▲	22:00	5:00			○			○				○										なし		
●●	日中				○			○			○													
〇〇	22:00	0:00			○							○					○					なし	なし	
△△																								
▲▲	22:00				○							○												
●●																								
〇〇																								
△△	18:00	20:00			○				縦三角			○					○					ビッグ三角	なし	
▲▲	18:30	20:30			○			○				○		ビッグ腹			○					なし	なし	
●●	18:20	20:00			○			○	ビッグ+2			○										なし		
				0	13	0	0	6		0	2	11	0			1	8	0	0	0	0	あり	あり	下衣のみ

気が付いたこと		
尿漏れ無し。本人の特性（姿勢）の為、テープ止の式がずり落ちる為、パッドを当て直した。		
日中、車イスに乗り通している時は、ワイドパッドでも良いのではないかと思います。		
(22:00) 排尿有り。三角、縦パッド共に汚染有り。テープ止の式以外交換する。(0:00) 排尿有り、三角パッドのみ交換。ずれ無し。		
小まめに排泄をみるならワイドで十分かと。排便はいたしかたないと思われる。2時間おきにみないのであれば、または臥床中であればビッグたて1枚で十分。		
ギャザーを巻いて装着しており、それなりの量はあるが、もれはなし		
ビッグパッド三角で漏れなし。夜間になる為、ビッグパッド縦のみに切り替えた。		
きれいに当てることが大切		

0	0	0
なし	なし	上衣のみ
11	8	0
		上下衣
		0
		シーツ交換
		0
尿漏れ	あり	なし
	0	1



みんなに優しい排泄ケアは・・・

入居者一人一人にあった排泄ケアの提供

健康の向上

生活の質（QOL）の向上

活動性の向上



業務の効率化による職員の心のゆとり

経費削減の期待



まとめ

- 健康グループ

入居者に対してどのような排便ケアをアプローチするにせよ、健康グループと生活グループの連携が重要。入居者の健康を守り、幸せな施設生活を提供する上での基本であることを改めて強く感じる事ができた。

- 生活グループ

アンケートを実施したことにより、職員全体で排泄ケアを考える基礎ができあがった。今後の施設研修や新人職員への教育プロセスのひとつとなった。

最後に、多職種連携・多職種協働により、湘南希望の郷ならではの活動となり、さらなる一体感の醸成に繋がった。